第 29 回 幹事会 議事録

日　時：令和 2 年（2020 年）8 月 4 日（火）16 時 00 分～18 時 30 分
会　場：Zoom（TV 会議）　　（ただし、最初の 30 分は情報交換タイム）
参加者（8 名）：立花、細倉、福田、大串、山田、小倉、岸田、野島
欠席者（3 名）：大久保、伊東、高橋　　【敬称略】

◆主要予定議題：①横浜市との協定案詰め（立花・福田）②相模原市との協定案報告（福田）③支部第 1 回研修会（7/30）の結果（山田）、④第 2 回研修会（8/19）の準備状況（小倉）⑤支部相談案件への取扱い（前捌き、山田）⑥支部のチラシ図案（細倉）

担当者：議事進行；岸田、司会・議事録・Zoom オペレーション；大串

【確認事項】

1．第 28 回幹事会議事録（案）（報告者：山田）　　【資料 29-1 参照】
・神奈川支部の方針として議事録はネット上で公開することを原則としているため、議事録記載内の表現等については十分留意する。（個人名表記など）
・上記を踏まえ、公開版として作成した原案を「議事録」とすることが承認された。

2．第 27 回幹事会議事録（報告者：岸田）　　【資料 29-2 参照】
・ネット上に公開する前に、再度内容を確認することとした。

【報告事項】

1．判定士会本部の動向

1）本部幹事会（7/14）報告（報告者：大串）　　【資料 29-3 参照】
・7 月 14 日開催の第 3 回幹事会議事録案のポイントについて報告があった。

2）オンライン開催の JGS 京都大会（7/21～7/23）と DS10（報告者：立花）　　【資料 29-4 参照】
・オンライン開催ということで、約 90 名の方々が参加された（ピーク時は 110 名）。
・判定士会内部にて資料は公開される予定。また判定会として発表会の開催も検討する予定。

3）宅地地盤の品質評価に関する技術講習会（9/9）（報告者：岸田）　　【資料 29-5 参照】
・機械的なこと（地盤工学会ウェビナーを使用）、CPD について、受講料関連（会員 7,000 円、非会員 11,000 円）、講師謝礼関連について、報告があった。

4）地盤品質判定士会ヘルメット・ビブス・腕章の販売　（報告者：　大串）　　【資料 29-6 参照】
・神奈川支部の幹事はなるべく購入するように心掛けして欲しいとの依頼があった。
・総務委員会から登録相談員へ、メーリングリストを通じて案内を行う。
・第 2 回相談員研修会でも案内を行う。その際の案内を作成する。

2．神奈川支部関連

1）相模原市との協定案報告（報告者：福田）　　【資料 29-7 参照】
・8 月 13 日（木）13:30～にアポイントの打診を行っている。訪問者は立花、細倉、福田。
・協定案を作ってほしいとの要望があったので、他団体との協定案を参考にたたき台として作成。
・費用面、責任やトラブルに関する文面を盛り込んで作成している。

2）神奈川支部第 1 回研修会（7/30）開催報告（速報）（報告者：山田）　　【資料 29-8 参照】
・第 1 回研修会開催報告（速報版）を基に、報告があった。

・出欠不明な方が１名いる。思いあたる方がいるので、その方かどうか確認を行う予定。
・開催内容についてクレーム等はなし。講師資料配布の際に、アンケート等で意見を伺う。

3）総務委員会活動報告　口頭報告（報告者：福田）
・現在は、各団体との協定締結をメインに活動。
・パンフレットの改定も最終段階。出来上がり次第、行政に配布していく予定。
・川崎市とは、業者の登録やホームページのリンクについて打ち合わせ中。回数を密に行う
・総務委員会にて、建設業者の整備を目的として業者のリストアップを行い、リスト化を目指す。
（建設関連団体との連携も視野に入れながら検討を行う）

4）技術委員会活動報告　第２回技術委員会（6/16）報告（報告者：山田）　【資料 29-9 参照】
・第１回相談員研修会と第２回相談員研修会の開催を中心に打ち合わせを行った。

5）支部事務局報告　口頭報告（報告者：立花）
・地盤工学会のシステム変更に伴い、９月までシステムが停止するため、CPD の申請が遅れる。
・判定士会のホームページ SSL 化を行う。その関係で神奈川支部ホームページは８月 28 日（金）～30 日（日）に作業を行うため、その期間は管理者アクセスが出来なくなる。
またアドレスが一部変更（http→https）されるため、チラシのアドレスは変更しておく。
・研修会が当初予算より収支に余裕が出てくる可能性があるため、事務委託費の支払いを検討する。
・オンライン会議開催にあたっての Zoom アカウント取扱い方法について検討を行う。

【検討事項】

１．横浜市との協定案（詰め）（報告者：立花・福田）　【資料 29-10 参照】
・協定案の原案は固まってきた、８月中に内部調整、９月に調印のイメージ。
・崖の相談については、横浜建築士事務所協会（ハマ建）と並行して進めているとのこと。
横浜市の仲介によってハマ建と連携の打ち合わせの予定。今後の良い連携のキッカケになる。
・調印に関する決裁方法：稟議書を本部に提出→回議にて理事承認→理事長の決裁、という流れ。
・協定案のリーガルチェックについては、判定士会に協力的な弁護士に依頼中。
・相談案件件数：横浜市内だけで 20～30 件ほど相談があるのでは？との予想なので、相談受付体制や相談内容についての記録整備を行う必要がある。
・行政が保管している過去の被災エリアや相談内容、対策の検討に関する情報の共有を目指す。

２．神奈川支部第２回研修会（8/19）の準備報告と検討（報告者：小倉）　【資料 29-11 参照】
・現在の申込者数は 10 名。参加方法について「会場、オンラインどちらでも」の意向の方については、できれば会場で参加頂くように促す。
・資料の配布方法、事前に配布するか当日配布するかは再度技術委員会にて検討を行う。
・昨年相談員研修を受講している幹事が参加する場合は、運営手伝いを条件に参加費無料とする。
・本部は、相談員研修会を全国で実施する意向のため、本部技術委員会の方には参加を促す。
・オンライン参加の方にも修了証を発行するため、出席の確認方法の検討が必要。

３．神奈川支部相談案件への取扱い（前捌き）の検討（報告者：山田）　【資料 29-12 参照】
・本部より、相談案件対応方法について関西支部と神奈川支部の進め方に若干違いがあるので、お互いに情報交換を行ってすり合わせをしたいとの意向あり。相談方法の統一を行うのか、地域によって独自性を持たせるかは今後の議論になる。
・神奈川版の問診票作成を行う。（相談者による問診票記入の感想、ハードルが高い様子。）

４．神奈川支部チラシ図案の検討（報告者：細倉）　【資料 29-13 参照】

・タイトル部分の「擁壁」を「よう壁」に修正を行う。

・HP の通信の暗号化（SSL 化）に伴い、アドレスが　http ⇒ https に変更となる。

・その他、指摘事項や意見があれば、事務局へ個別に連絡を行うこと。

５．その他

1) 10/15～11/12ＮＰＯブルーアースと共同主催するＥ＆Ｅ・防災セミナーチラシ

（報告者：岸田）【資料 29-14 参照】

・開催の方法については、ブルーアースの方針に従う。なお、会場とオンラインの併用開催となった場合は技術委員会としてフォローを行う。

・神奈川支部幹事全員が講師として参加する方向で開催の協力をする。

2)その他

・支部相談案件について報告あり。1 次相談を前提に、8 月 17 日もしくは 18 日に現地調査を希望。相談員は公募とする。もし応募がなかった場合は幹事内で対応を相談する。

・崖地／擁壁に関する対策が完了したら、防災としての洪水対策をテーマに入れると良いのでは？

＜資料＞

資料 29-1：神奈川支部第 28 回幹事会(7.17）議事録案

資料 29-2：神奈川支部第 27 回幹事会(6.9）議事録

資料 29-3：判定士会第３回幹事会 20200714 議事録案

資料 29-4：オンライン開催の JGS 京都大会（7/21～7/23）と DS10

資料 29-5：宅地地盤の品質評価に関する技術講習会（9/9）

資料 29-6a：地盤品質判定士会ヘルメット・ビブス・腕章の販売

資料 29-6b：地盤品質判定士会ヘルメット・ビブス・腕章の申込み用紙

資料 29-7：相模原市との協定案報告

資料 29-8：神奈川支部第 1 回研修会（7/30）開催報告（速報版）

資料 29-9：神奈川支部第 2 回技術委員会（6/16）報告

資料 29-10：横浜市との協定案（詰め）

資料 29-11：神奈川支部第 2 回研修会（8/19）の準備報告と検討

資料 29-12a：神奈川支部相談案件への取扱い（前捌き）の検討（関西支部対価の考え方）

資料 29-12b：神奈川支部相談案件への取扱い（前捌き）の検討（関西支部地盤評価問診票）

資料 29-13a：神奈川支部チラシ図案の検討（市民向けチラシ）

資料 29-13b：神奈川支部チラシ図案の検討（自治体向けチラシ）

資料 29-14：ＮＰＯブルーアースと共同主催するＥ＆Ｅ・防災セミナーチラシ

※次回幹事会：10 月 13 日（火）、社会福祉センターもしくは Zoom によるオンライン会議

以上　大串　原案　(20200805)　記